

NPR

第123期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

Contents

株主の皆様へ

セグメント別事業概要

連結財務諸表

トピックス

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



取締役社長 山本 彰

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当グループ2019年3月期の事業概要等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に個人消費にも持ち直しが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。また、世界経済におきましては、中国経済の減速等により力強さを欠きましたが、全体としては米国経済が堅調に推移する等、緩やかな成長が続

きました。

当グループは、当年度より持続的な成長をはかるべく、『変化に強いモノづくり』による企業価値の向上～マーケティング&イノベーションによる100年企業の土台作り～』を基本方針とした第七次中期経営計画をスタートさせ、事業基盤の拡充による企業価値の向上を推し進めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の業績についての概要

当グループが関連する自動車業界におきましては、アセアン等の新興国を主体とした海外市場での需要は堅調に推移したものの、中国における需要が減少したこと等により、世界の自動車生産台数は前年を下回る結果となりました。

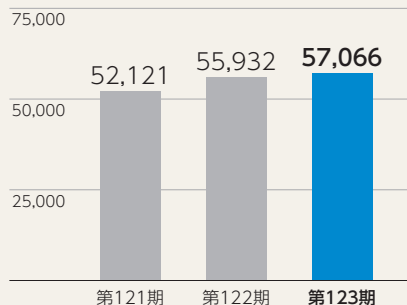
当グループは、国内外自動車メーカーへの取引拡大により、売上高は570億66百万円と前年同期比2.0%増となり、過去最高となりました。

損益面では増産や原価低減の効果がありましたが、原材料高騰の影響等により、営業利益は34億20百万円と前年同期比12.1%減、経常利益は為替差損の発生により33億63

決算ハイライト

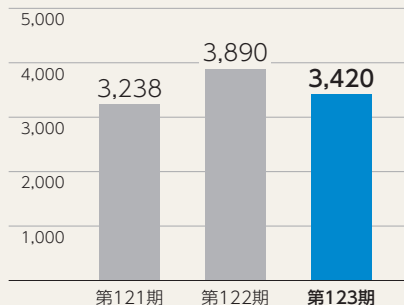
売上高

(単位：百万円)



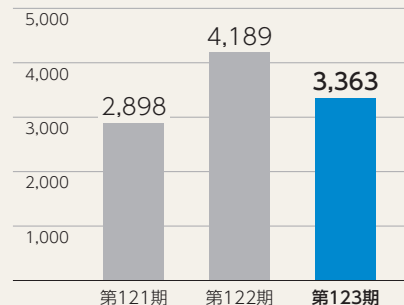
営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



百万円と前年同期比19.7%減、親会社株主に帰属する当期純利益は18億88百万円と前年同期比17.4%減となりました。

次期の見通しについて

世界経済は、全体として緩やかな回復が見込まれるものの、引き続き中国経済の減速等による景気下振れリスクを抱えており、先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われまます。

当グループが関連する自動車業界におきましては、新興国を主体とした海外市場での需要増等を背景に自動車生産台数の増加基調は続くものと思われまます。また、低燃費、排ガス規制等の世界的な環境問題への対応強化から、当社の先進的技術を活用した製品へのニーズは今後一層高まるものと考えられます。

このような状況のなか、当グループは国内外での拡販や原価低減を推し進め、株主の皆様のご期待にお応えすべく引き続き努力してまいります。2020年3月期は為替円高影響等を見込み、売上高560億円、営業利益26億円、経常利益26億円、親会社株主に帰属する当期純利益16億円を予

想しております。

今後の事業展開について

当グループは持続的な成長をはかるため、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画に取り組んでおります。

【基本方針】

「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上
～マーケティング&イノベーションによる
100年企業の土台作り～

【目標値（2021年3月期）】

売上高：580億円以上、営業利益率：7.5%以上

【重点施策】

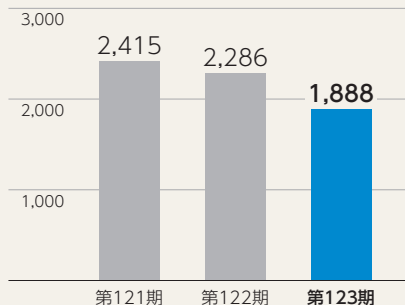
- (1) 国内外での技術提案型営業の強化
- (2) 革新的モノづくりの追究
- (3) 新製品開発の強化
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) CSR活動の継続的推進

配当について

配当につきましては、業績に応じた適切かつ安定的な利益配分を考慮して行わせていただいておりますが、当期の期末配当は1株当たり45円とし、中間配当とあわせた年間配当は1株当たり75円とさせていただきます。

次期の配当につきましては、1株当たり75円（中間配当20円、期末配当55円）を予定させていただきます。

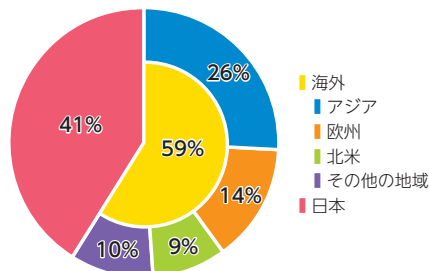
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



地域別売上高構成比

海外売上高：338億41百万円

国内売上高：232億25百万円



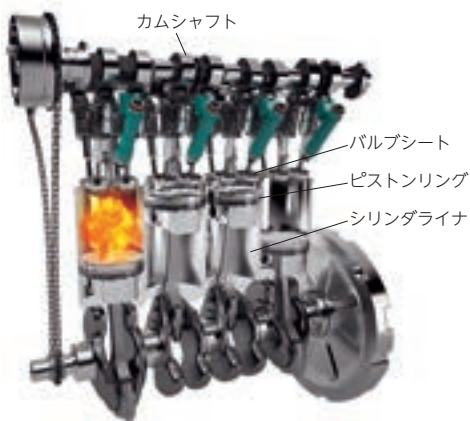
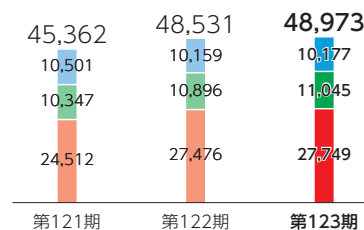
自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)
85.8%

自動車関連製品事業は、世界自動車生産台数は減少したものの、国内外自動車メーカーへの拡販が進んだことにより、売上高は489億73百万円と前年同期比0.9%増となりました。

売上高の推移

(単位：百万円)



ピストンリング

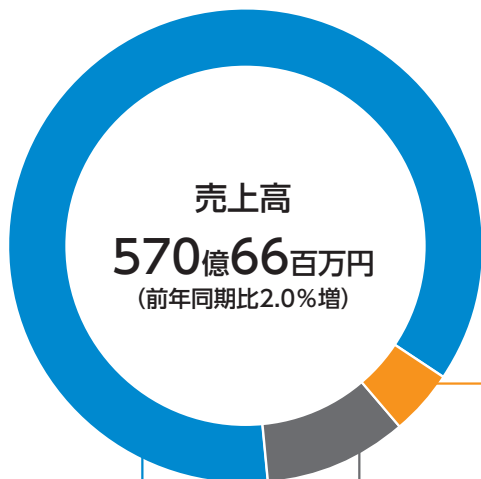
非日系自動車メーカー向けの新規立上がり等により、売上高は277億49百万円と前年同期比1.0%増となりました。

バルブシート

国内及びアセアン地域での受注増加等により、売上高は110億45百万円と前年同期比1.4%増となりました。

その他自動車関連製品

軸受補強材の受注増加等により、売上高は101億77百万円と前年同期比0.2%増となりました。

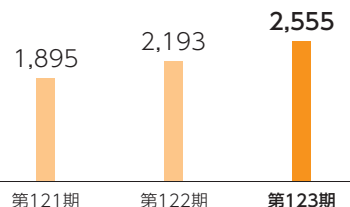


船用・ その他の 製品事業

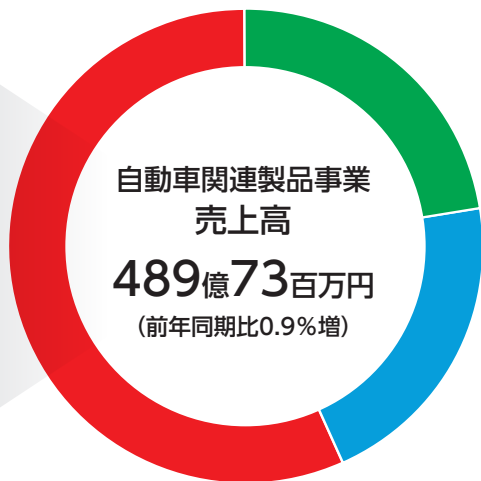
(売上高構成比)
4.5%

売上高の推移

(単位：百万円)



産業機械向け製品等の需要増加により、売上高は25億55百万円と前年同期比16.5%増となりました。

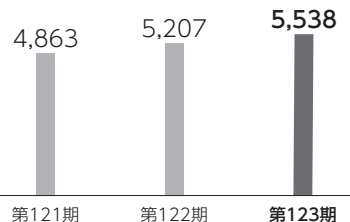


その他

(売上高構成比)
9.7%

売上高の推移

(単位：百万円)



商品等の販売事業を含むその他における売上高は55億38百万円と前年同期比6.4%増となりました。

解 説

1 資産（3億4百万円減）

「投資有価証券」8億70百万円減、「有形固定資産」5億85百万円減、「現金及び預金」5億25百万円減に対し、「受取手形及び売掛金」8億68百万円増、「たな卸資産」7億15百万円増等によるものです。

2 負債（3億16百万円減）

「有利子負債」7億42百万円減、「繰延税金負債」3億37百万円減に対し、「支払手形及び買掛金」6億49百万円増、「電子記録債務」3億45百万円増等によるものです。

3 純資産（12百万円増）

「利益剰余金」10億66百万円増、「非支配株主持分」6億14百万円増に対し、「為替換算調整勘定」7億48百万円減、「その他有価証券評価差額金」6億5百万円減等によるものです。

この結果、自己資本は311億66百万円となり、自己資本比率は47.4%となりました。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	前期末 (2018年3月31日現在)	当期末 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	27,355	28,489
固定資産	38,741	37,304
有形固定資産	30,425	29,840
無形固定資産	726	815
投資その他の資産	7,589	6,648
1 資産合計	66,097	65,793
(負債の部)		
流動負債	21,947	23,001
固定負債	11,666	10,296
2 負債合計	33,614	33,298
(純資産の部)		
株主資本	28,918	30,189
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	6,080
利益剰余金	13,533	14,599
自己株式	△ 329	△ 330
その他の包括利益累計額	2,871	977
新株予約権	74	94
非支配株主持分	619	1,233
3 純資産合計	32,482	32,495
負債・純資産合計	66,097	65,793

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当 期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	
売上高	55,932	57,066	
売上原価	42,406	43,887	
売上総利益	13,526	13,178	
販売費及び一般管理費	9,635	9,757	
営業利益	3,890	3,420	4
営業外収益	654	431	
営業外費用	355	488	
経常利益	4,189	3,363	5
特別利益	840	65	
特別損失	1,136	201	
税金等調整前当期純利益	3,894	3,227	
法人税、住民税及び事業税	1,087	1,227	
法人税等調整額	391	△ 32	
当期純利益	2,415	2,031	
非支配株主に帰属する当期純利益	128	143	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,286	1,888	6

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当 期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,094	5,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,856	△ 4,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,104	△ 845
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	△ 205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	277	△ 525
現金及び現金同等物の期首残高	4,634	4,911
現金及び現金同等物の期末残高	4,911	4,386

解 説

4 営業利益 (12.1%減)

増産影響や原価低減等の効果はあったものの、原材料費の高騰影響等により減益となりました。

5 経常利益 (19.7%減)

営業利益が減少したことや為替差損が発生したことにより減益となりました。

6 親会社株主に帰属する当期純利益 (17.4%減)

経常利益の減少等により減益となりました。

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したことにより、前期末の連結貸借対照表は当該基準を遡って適用したものとなっております。

トピック1

「第11回 オートモーティブワールド」へ圧粉コア関連製品を展覧

2019年1月16日（水）～18日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催された「オートモーティブワールド」に出展しました。オートモーティブワールドは、自動運転、クルマの電子化・電動化、コネクティッドカー、軽量化など、自動車業界における先端テーマの最新技術が展示され、世界中から自動車メーカー・自動車部品メーカーが集まる展示会です。

出展社数1,002社の中、当社ブースには200名を超えるお客様にお越しいただきました。

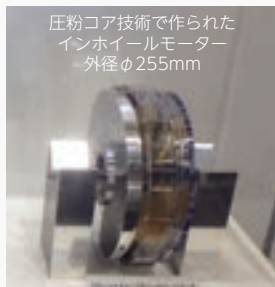
当社ブースには圧粉コア技術で作られたインホイールモーター、そのモーターを搭載した一人乗り小型電気自動車のほか、金属粉末射出成形技術で製造されるメタモールド製品やDLC（ダイヤモンドライクカーボン）をコーティングしたピストンリングなどを展示しました。

中でも圧粉コアモーターのもつ扁平形状・高トルクという特徴をお客様のニーズに合わせて活用していただけるようアピールしました。

今後も圧粉コアモーターの特徴を活かした車両駆動をはじめとした用途開発を進め、事業化へ向けて活動してまいります。



展示内容



「新製品事業への取り組み（歯科インプラント）」



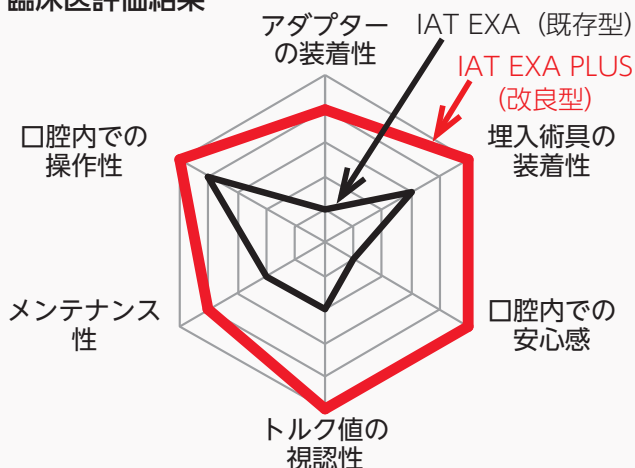
2018年10月に新たにブランド名“IAT EXA”から“IAT EXA PLUS（アイ・エイ・ティー・エグザ・プラス）”に変更し販売を開始しました。

インプラント埋入手術をより簡便にするトルクレンチやインプラントドライバーの採用、デジタル化に対応したCTデータをもとにシミュレーションソフトを用いて手術方針を検討する等市場のニーズに応じた商品開発・改良を行っております。

今後も自動車エンジン部品で培った当社の技術・知見・ノウハウを活かすとともに、現場の先生方や患者さんの声をいち早く受け止め確かなクオリティをさらに追求してまいります。

改良ポイント

トルクレンチ
臨床医評価結果



インプラントドライバーの開発



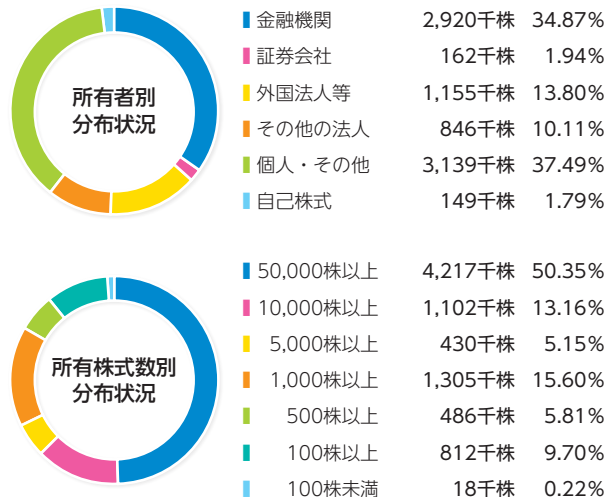
■ 会社の概要 2019年3月31日現在

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年（昭和9年）12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結：3,021名 個別：681名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびにその他各種部品の製造・販売

■ 株式の状況 2019年3月31日現在

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	7,754名

■ 株式分布状況



■ 役員 2019年6月26日現在

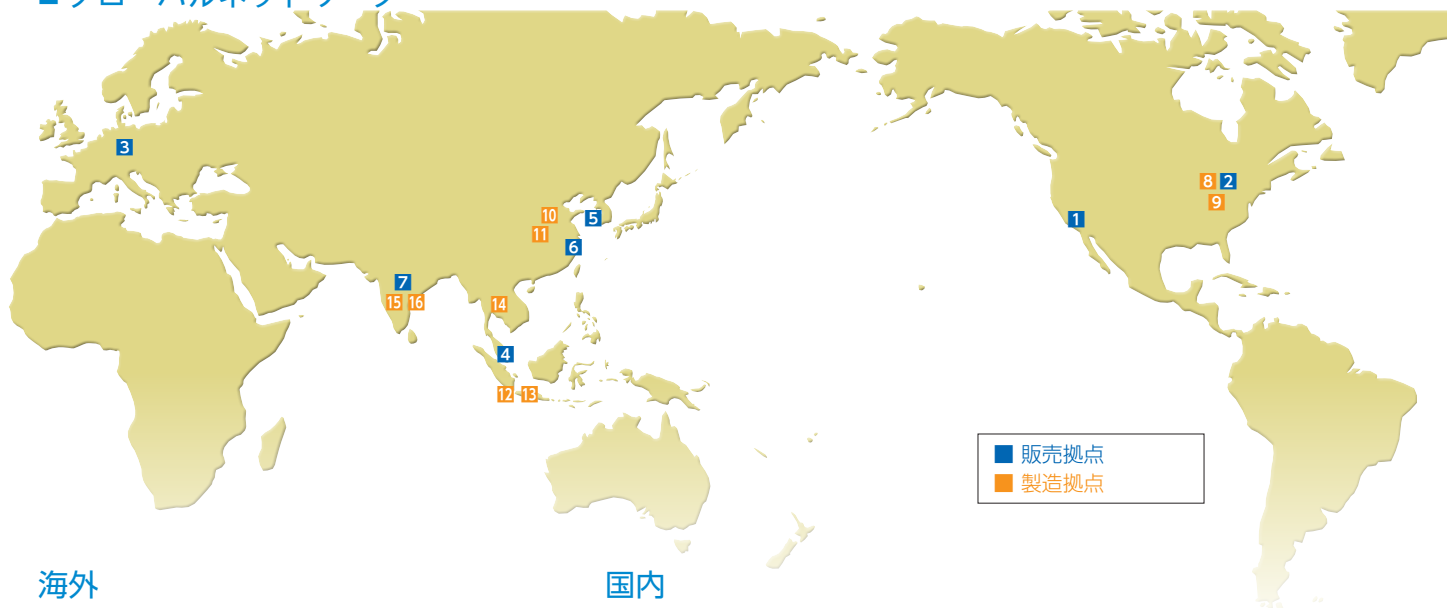
取締役社長	山本 彰	執行役員	太田 一人
取締役副社長	大石 滋	執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
常務取締役	高橋 輝夫	執行役員	小野寺義男
取締役	藤田 雅章	執行役員	越場 裕人
取締役	楊 忠亮	執行役員	梶原 誠人
取締役	南雲 良介	執行役員	犬塚 秀昭
取締役	石井 歓	執行役員	西牟田英樹
常勤監査役	佐藤 嘉博		
常勤監査役	平石 巖		
監査役	石橋 博		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	552	6.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	440	5.36
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	415	5.05
朝日生命保険相互会社	259	3.15
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	208	2.53
日本ピストンリング持株会	182	2.22
株式会社新生銀行	165	2.01
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	148	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口5）	142	1.73

(注) 1. 自己株式（149千株）は上記記載から除いております。
2. 持株比率は自己株式（149千株）を除いて計算しております。

■ グローバルネットワーク



海外

- 1** NPR of America, Inc.ロサンゼルス営業所 (米国)
- 2** NPR of America, Inc.デトロイト営業所 (米国)
- 3** NPR of Europe GmbH (ドイツ)
- 4** NPR SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5** NPR Korea Representative Office (韓国)
- 6** 日環自動車部品製造 (儀征) 有限公司 上海営業所 (中国)
- 7** NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED グルガオン営業所 (インド)
- 8** NPR of America, Inc.ミシガン事業所 (米国)
- 9** NPR of America, Inc.ケンタッキー事業所 (米国)
- 10** 日環自動車部品製造 (儀征) 有限公司 (中国)
- 11** 儀征日環亜新科粉末冶金製造有限公司 (中国)
- 12** PT. NT PISTON RING INDONESIA (インドネシア)
- 13** PT. NPR MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
- 14** Siam NPR Co., Ltd. (タイ)
- 15** NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED (インド)
- 16** IP Rings Ltd. (インド)

国内

- 本社 048-856-5011
- 17** 東京営業部 048-856-5028
- 18** 国際営業部 048-856-5020
- 19** 名古屋営業部 052-509-1681
- 20** 大阪営業部 06-6303-6451
- 21** メタモール事業推進部 0280-57-1170
- 22** 広島営業所 082-228-2244
- 23** 福岡営業所 092-474-0761
- 24** 仙台営業所 022-237-0731
- 25** 札幌営業所 011-825-1961
- 26** ㈱日本リングサービス 048-856-5201
- 27** 栃木工場 0280-57-1111
- 28** ㈱日ピス岩手・一関工場 0191-31-2111
- 29** ㈱日ピス岩手・千厩工場 0191-53-2011
- 30** ㈱日ピス福島製造所 024-565-5111



※2019.4.1現在

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.npr.co.jp/ ただし、電子公告による公告をすることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日 本経済新聞に公告いたします。

お知らせ（ご注意）

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <https://www.npr.co.jp/>

当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<https://www.npr.co.jp/>

